

ちくたくネットと仲間たちによる 「自己決定を支えるケア」をテーマにした劇

劇の構成を考えた諸隈病院医療ソーシャルワーカーの西村昇造さん

病気が原因で「家には帰られない」「家族に迷惑をかける」など、さまざまな理由から自宅生活を諦めてしまう人が多い。ひとりで悩まず、自身の「望む生活」を話してもらい、家族やサービス提供者が共有・協力することで、みんなを支えることができることを知ってもらいたかった。

劇のシーンから



◇病院の場面：

本人の気持ちを尊重し、支援の方向を考える



◇自宅での場面：

ケアマネージャーが訪問し、サービス提供内容等を確認する



◇訪問看護の場面：

在宅サービスにはリハビリや訪問入浴などの支援もあります



◇医師による訪問診療の場面



◇最期の場面

多久市には、市内の医療機関や福祉関係施設などの職員と共同で「在宅医療・介護連携推進協議会」を設置しています。切れ目のない医療と介護を提供していくために各分野で学習会活動や全体多職種職員研修会を実施しています。また、毎年1回は市民と一緒に学ぶ機会として市民公開講座を開催しています。